



発行:東北支部北河内地区広報活動地区育成委員会

TEL:06-6965-9999

FAX: 06-6965-2468

touhoku-info@truck.or.jp

一番に選ばれる運送会社になるために！

平成28年10月7日金曜日 17時半～ 太閤園ゴールデンホール に於いて当地区会主催で、経営者研修交流会を開催した。本研修会は8月の運行管理者等実務者『勉強会』(後述)に続く第2弾で、株式会社プロデキューブ 代表取締役高柳勝二氏を講師として迎え、参加した会員 63 名は皆熱心に勉強し、また束の間の休息を得た。

90 分の高柳氏の講演に聴き入る会員参加者 ↓



開演の挨拶をする地区長 ↓



中島地区長は、「我々業界を取り巻く環境は、配送運賃が上がらないなか行政による労働時間の制限、また公共料金の値上げ等で日々厳しくなるばかり。コンプライアンスを遵守し、一つひとつの課題に対応して事業を継続していくには、私たち経営者が知識をより向上させ取り組んでいかなければならない。今日の研修会が皆さんのお役にたてれば」と主催者を代表し、挨拶した。

続いて、講師の高柳勝二氏が登壇し『一番に選ばれる運送会社になるために！』— コストを掛けない安全と品質への取り組み事例 — をテーマに約1時間半の講演がはじまった。内容は、荷主から選ばれる運送会社としてどうあるべきか、また昨今よく耳にする「募集をかけているが集まらない」という人材不足について、ドライバーから選ばれる運送会社にするにはどうすればよいか、という2点。これを社内ルールの構築・安全対策・事故に遭わない防衛運転を事例にして、荷主様やドライバーさんの視点で、具体的にわかりやすく説明して頂いた。

講演終了後の第二部「交流懇親会」は大阪府トラック協会の中原副会長の乾杯の音頭により始まり、大盛況のうちに幕を閉じた……。 (M. M)

↓ **副会長の乾杯の挨拶に呼応せんとする懇親会会場の様子**



プロデューブ・高柳勝二氏を囲んで … ↑

交流懇親会での話題の中心はやはり高柳氏の講演についてで、「できてないことが一杯あって恥ずかしくなった」・「たくさんの気づきを頂き明日からの経営に活かしていきたい」・「自社の運行管理者、実務者にも聴かせてやりたい」等、本当に前向きで嬉しい感想を頂いた。氏の講演はとにかく大変好評で「面白くて時間を短く感じた!」・「今迄に聞いた講演の中で、1番良かった!」というのが参加者の多くの声だった。

そして「ぜひ第2弾、第3弾と継続して欲しい!」という強い意見をも頂戴しているので、経営者研修交流会後の10月18日開催した地区役員会では、こうした研修会を地区事業として今後も継続していくかどうかを諮り、その継続を承認した。

2016 秋の全国交通安全運動!

子供と高齢者の交通事故防止を運動の基本として今秋も9/21~9/30迄の10日間、全国交通安全運動が実施された。当地区では、春に続いて前日の20日には枚方で「啓発パレード」が、初日にあたる21日にも住道駅前「早朝キャンペーン」が予定されていたが、いずれも台風接近に伴う悪天候のため中止となった。しかし天気の回復した21日午後3時30分からは寝屋川市において初めての試みとなる「交通安全パレード」を開催。

また、29日には、ムーブ21の4Fイベントホール於いて「守口市交通安全市民大会」を開催。それぞれの啓発行事には、交通安全意識と交通マナーの高揚をはかるために役員を中心に参加協力した。(K. N)

於:寝屋川駅前



永年の交通安全へ寄与で表彰を受ける当地区の会員

スローガン

- シニアこそ ジュニアのお手本 交通安全
- こんばんは 早めのライトで ごあいさつ
- その酒で 失う信頼 家族の未来

北河内地区会はじめての「勉強会」

平素は、北河内地区会の地区運営にご理解とご協力を賜り有難く厚く御礼を申し上げます。

さて、今期の地区事業として8月19日に大東市民会館を第一会場として、24日には守口門真商工会館を第二会場として、運行管理者等実務者の皆様を対象に「勉強会」を開催させて頂きました。また勉強会終了後には出席されました実務者の皆様方との交流懇親会の小宴も実施させて頂きまして、後日には交流会参加の会員様相互の商談がまとまり、取引を始めたとの嬉しいご連絡も頂戴いたしました。初めての地区行事ではありましたが、企画を担当させて頂きました関係役員一同大変喜ばしく感じております。

「勉強会」の両会場ともに約35名余りの出席者ではありましたが、近畿運輸局長指定の大阪府貨物自動車運送適正化事業実施機関の巡回指導員をされておられます山内清彦氏を講師としてお迎えし、運行管理者の役割、点呼、行政処分そして法改正による添乗指導など、70分の講義ではまだまだ時間不足の様子でしたが、皆さん熱心に配布された資料にメモ書きされる等、「勉強会」らしい光景でした。

今後も北河内地区会としましては、同様の「勉強会」を継続事業として会員皆様方の知識の向上と相互交流を図らせて頂く事業として発展させて行きたく存じますので、皆様方の一層のご支援と多数のご参加をよろしくお願い申し上げます。

(常喜総務委員長)

今回の勉強会のポイント

- ① 運行管理者の役割(補助者による点呼方法等)
- ② 来年3/12～初任運転者の指導(添乗20時間を含み35時間以上が必要)・国交省告示1366号の11項目が12項目へ
- ③ 運行記録用紙の活用(乗務員からの聞取り情報の記録押印)
- ④ 行政処分基準等の概要
- ⑤ 労務管理の要点(拘束時間と休息时间について等)



山内清彦氏



運行管理者等実務者「勉強会」(北河内地区会主催) 8.19 於：大東市民会館



◎2016年 中環をきれいにする日(10/20)

秋晴れの爽やかな中、今年の中央環状線の清掃活動には東北支部から13名が参加しました。

当初は9月20日の予定でしたが、台風接近の雨天のため順延となり10月20日の実施となりました。午前9時半にイオンモール大日前広場に集合。各種団体と共に、例年どおり北ルートと南ルートに分かれて

清掃実施し、トラック協会は南ルートの清掃を担当しました。

東北支部役員や青年協議会より多数参加頂き有難うございました。

(H. S)



◎2016 トラックフェスタ(10/16)

まさにフェス日和といった快晴に恵まれ、今年もトラックフェスタを無事に開催することができました。会場となった吹田市の万博記念公園「お祭り広場」では、心地よい秋の風の中、たくさんの家族連れや行楽客で賑わいました。東北支部は毎年恒例で名物ともなっている「機関車トーホク」と「トーホク新幹線」を走らせ、たくさんの子供たちに乗車頂き、本当に無邪気で屈託のない笑顔で遊んでもらう事ができました。もちろん親子での乗車なのですが、その親子の会話が自然で仲良く、実に微笑ましい光景でした。

トラックは暮らしのライフラインをテーマに開催されるこの行事では、特設バザー会場も設けられ、各テントブースではたくさんの食品や商品、しかも上質なものを多数販売されており、此処もまた多くの人で賑わっておりました。これはどう見ても大成功！という状況でしょう。

縁日や夜店など、各地で頻繁に催していたのが最近では少なくなっている中、来年も是非と！願うトラックフェスタでした。(O. M)

◎2016 支部緊急輸送訓練 は、門真市で実施！

枚方市・大東市につづき今年の8月、門真市との災害時輸送協定の締結を受け、去る10月29日(土)の10:00～門真市役所本館前駐車場に於いて、平成28年度の東北支部「緊急輸送訓練」を実施。

85社の緊急輸送登録事業者の中から9/1メール一斉送信にて訓練出

動事業者を募り、先着順で決定した5社・5両が当日は集結した。訓練は梶原副指揮官の号令で始まり、点呼・装備点検・積込作業をすばやく終えた5両は市民プラザに向けて出動。昨年より導入の通信訓練では、車両到着状況の確認と帰還指示を行い、全車とも11:30無事帰還した。



なお今回の訓練では、消防署職員による消防団研修も併せて開催。内容は、救出・救助活動に使用する道具の説明、疾病者搬送法、災害現場体験談等で、特に搬送法では毛布利用した即席担架の作り方や様々な搬送法が実演され、参加された消防団の皆様もペアを組み実際に体験した。(K. E)

青協 6 月度例会

平成28年6月11日土曜日「業務中に意識できる事故防止対策」と題して、青年協議会6月例会がトラック総合会館にて開催されました。

自動車の事故防止は「企業の健全な経営や信用維持・発展」

「損失の軽減」「社会的責任」などにつながる課題であり、そのためのドライバー教育は最重要課題です。そこで幅広く参加者を募り、実践的の事故防止対策を学んでいただくというのが今回の趣旨です。講習にはエコドライブや事故防止講習を多数手掛けておられる(株)アスア様にお願ひし、普段の業務中に意識できる事故防止対策を学ばせて頂きました。当日は51名の方が参加され、反応速度を計測したりブレインストーミングや集中している時としていない時の時間を比べる等、全員参加の実践的講習を行っていただきました。講師が前に立って話しビデオを見るだけの講習が多い中、今回のように、受講する側のドライバーさんが学びやすい研修も必要であることを痛感しました。(Y.K)



今年は

原田 伸郎

が来た！

平成28年9月8日支部主催で後継者育成経営基盤強化研修会が太閤園にて開催されました。

今回はタレントの原田伸郎さんを招き、「物の流れ！人の流れ！ギアチェンジの時！」と題して講演していただきました。



原田さんの学生時代の思い出、つるべさんや清水さんとの出会いやテレビ出演の話、ゴルフ番組の収録の話など、楽しい話が盛りだくさんでした。

講演後にはギターの弾き語りでも歌も披露していただき、大ヒット曲の「赤とんぼの唄」はとても懐かしく聴かせていただきました。

さらには、その後の懇親会にもご参加いただき、交流を深めていただきました。当日は80名の参加で無事終了しております。(Y.K)



インターンシップ受入事業者の登録について

学生（高校、専門学校、大学等）をインターンシップにより早期から物流現場へ受入れて、我々業界への理解及びイメージアップを図り、将来を担う若手人材を確保するため、全日本トラック協会では、現在インターンシップ受入れ事業者の登録を募っております。

??? インターンシップって何 ???

インターンシップは、就職や仕事への理解や関心を高めるため、「生徒が事業所などの職場で働くことを通じて職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接すること」です。地域の協力を得て、事業所、大学、行政、研究所等で行われる就業体験で、これは正規の学校教育活動です。こうした機会は将来の生き方や進路を考えるうえで、生徒にとって有意義なものと考えられます。

例えば、トラック運送業界におけるインターンシッププログラム つくるとしたら …

	午前	午後
1 日目	オリエンテーション (会社概要説明、社長講話)	・車両及び荷積み作業見学 ・倉庫及び倉庫業務の概要説明
2 日目	・車両の安全点検、基礎整備(補助) ・車両に同乗し、配送業務を見学	・運行管理業務の概要説明 ・配車状況の見学 ・車両管理システムの操作(補助)
3 日目	・倉庫内作業の見学 ・倉庫内荷役作業の実習	・プレゼン制作 ・発表会 ・修了式(社長講話等)

上記は、「運送業務」に加えて構内業務を中心にしたケースですが、「運送業務」だけを中心にしたものや、事務業務を中心にした実習など様々のプログラムで対応できるのでは？ **そして助成も！**

平成 28 年度 インターンシップ導入促進支援事業助成金について

資本金 3 億円以下又は従業員数 300 人以下の中小企業者において、今年度に上記インターンシップを受け入れた場合、3 日間で 9 万円・4 日間で 11 万円・5 日間以上で 13 万円の助成金が出ます。

※「大阪府トラック協会」のホームページの **2016/10/26 TOPICS** をご参照下さい！

全ト協のホームページにリンクし、「インターンシップ」の概要等が公開。登録は、**情報登録**をクリック！受入事業者を閲覧すると、当地区会・守口門真ブロックの会員様が既に登録済です。

◆北河内地区会員状況 全 286 社

— 平成 28 年 10 月末 現在 —

守口・門真ブロック	102 社
寝屋川・枚方・交野ブロック	108 社
大東・四條畷ブロック	76 社

◆今後の予定

物流セミナー・支部年賀交換会

1/12 (木) 於：太閤園

講師 ～ 岩田 公雄氏

(ジャーナリスト)